

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	政策	-	1	企画総合計画事業	☐ 法定受託事務
所管課	政策部 企画課			評価者	企画課長 村上 彩
一般	会計	款	10	項	5
総合計画上の位置付け	分野名	0-(2) 行財政運営		施策の方針名	0-(2) 行財政運営

1 事業の目的

対象	市民等	意図	地方自治法の本旨に即し、地域における総合的かつ計画的な行政運営を図るため
効果	基本構想に掲げた将来都市像「古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち」の実現		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 (事業終了予定年度： 年度) ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業工程	市政運営に係る事務、行政評価、総合計画の策定業務、SDGs推進、補助金の受付申請事務、広域連携	市政運営に係る事務、行政評価、総合計画の策定業務、SDGs推進、補助金の受付申請事務、広域連携	市政運営に係る事務、行政評価、総合計画の策定業務、SDGs推進、補助金の受付申請事務、広域連携
予算額（千円）	49,340	7,986	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	49,340	7,986	0
当初人員配置数	8.5	11.0	0.0
人件費（千円）	58,253	67,726	0
事業実績	市政運営に係る事務、行政評価、総合計画の策定業務、SDGs推進、補助金の受付申請事務、広域連携		
決算額（千円）	43,708		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	43,708	0	0
人員配置実績数	9.0	0.0	0.0
人件費（千円）	53,841	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	企画課所管の補助金等を申請した事業の件数（累計）	件	0	7	4		
	実績につながる活動	地域未来交付金や県の助成事業等を把握したうえで、交付要件に該当する事業が活用できるように働きかけた。 なお、物価高騰重点支援地方交付金は本指標の対象からは除く。				0		
活2	指標名	策定・改定する個別計画に対して、企画課で支援を行った計画数	件/年	未実施	1	未実施		
	実績につながる活動	各課所管の個別計画の策定・改定時に、総合計画の施策や指標との整合性のすり合わせを行う。				0		
活3	指標名	市の課題を解消するために外部へ行った提案数	件	24	7	19		
	実績につながる活動	首長懇談会や県議団要望等において、市で課題となっている事項に係る提案や要望等を行った。				0		
活4	指標名	職員に対する「総合計画」の研修等の件数	件	0	7	0		
	実績につながる活動	職員が「総合計画」の内容を理解し、活用できるようになるための研修等を実施する。				0		
活5	指標名	市民参加型共創プラットフォームを活用した政策形成の取組件数	件/年	5	7	9		
	実績につながる活動	業務委託により市民参加型共創プラットフォーム（Liqid）の運営及びワークショップの開催等により政策形成支援を行った。				3,134		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・地域未来交付金については、デジタル実装型（こどもみらい部及び教育文化財）の案件が2件採択された一方、地域未来推進型（まちづくり計画部）が不採択となってしまった。その他県等の補助金は2件採択をされた。計39,503千円（限度額）の補助金等を得ており、一定の成果があると考えている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結 果指標No （最大3つ）
					実績			
成1	総合計画の指標達成率	%	未実施	77	45.3			1 2 4
成2	市長manifestoに関連する市の事業の進捗率（具体的な工程が確定した事業及び予算措置が行われた事業の割合）	%	未実施	100	未実施			1 3 5

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	令和7年度に鎌倉市長選挙が実施され、現市長のmanifestoが更新された。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	令和7年度までを計画期間としていた第3次総合計画第4期基本計画の指標達成率は45.3%にとどまった。令和8年度を初年度とする鎌倉ミライ共創プラン2030については、指標達成率を向上できるよう交付金等を活用し、指標達成率の向上を図っていく。 市長選挙を10月下旬に実施し、manifestoと市の施策を整理したが、予算化にあたっては一部にとどまっている。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	計39,503千円（限度額）の補助金等を得て事業を推進する、市民参加型共創プラットフォームの活用による政策形成過程への市民参画の推進などの取組が総合的に作用したため、総合計画の施策指標の達成に寄与したと考える。特に地域未来交付金（デジタル実装型）で「妊産婦のためのオンデマンドバス市内全域運行サービス」が採択されたことは、福祉やこども・若者施策のみならず移動交通施策の達成にも寄与したため、一定の成果があると考えている。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☒ ある	☐ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない	
方向性	評価実施年度の方向性		⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ④ 予算規模は現状維持とする ☐ ⑤ 予算規模は拡大する ☐ ⑥ 予算規模は縮小する	
今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果		具体的な内容
	前年度の新たな課題への対応結果		解決		第3次総合計画第4期基本計画の計画期間が終了するため、令和8年度を初年度とする「鎌倉ビジョン2034」及び「鎌倉ミライ共創プラン2030」の策定を行った。
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たな課題あり		「鎌倉ビジョン2034」及び「鎌倉ミライ共創プラン2030」の進行管理を行うとともに、行政評価の手法を再検討する。鎌倉市のまちづくりに参加する『（仮称）鎌倉アンバサダー（関係人口）』制度の創設に向けた検討を行う。
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新規事業の必要性はない		行政評価及び関係人口については、手法の検討を行う段階であるため、現時点では新規事業の必要性はない。
	総評	令和7年度は、鎌倉ミライ共創プランの策定及び令和7年度の鎌倉市長選挙に伴い、本市における施策体系を構築したとともに、市長のマニフェストに関連する事業と施策が整合するように整理を行った。令和8年度以降はこれら施策の推進に向けて、各課の実情を把握したうえで、交付金の活用や個別計画策定・改定を図っていく。併せて、令和8年度からは、総合計画と各課の個別計画の整合を図る取組と、職員向けの周知啓発を図ること			
	で、市の施策形成を推進していく。				上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	令和7年度の地域未来交付金（デジタル実装型）の採択件数及び金額								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	2件	2件	0件	1件	2件	5件	0件	0件	0件
	38,003千円	17,326千円	0円	2,622千円	29,077千円	129,430千円	0円	0円	0円
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	地域未来交付金（デジタル実装型）の採択件数及び採択金額は、他の一般市とは同等以上の実績を上げたと思う。								